

裝飾音・裝飾記号

装飾音・装飾記号とは？

細かいニュアンスを付加してきらびやかに飾ることができる音。
装飾音のことを、英語では「Grace Note(グレースノート)」と呼び
Graceには「飾る」という意味以外にも「優美」「優雅」という意味もあります。



裝飾音

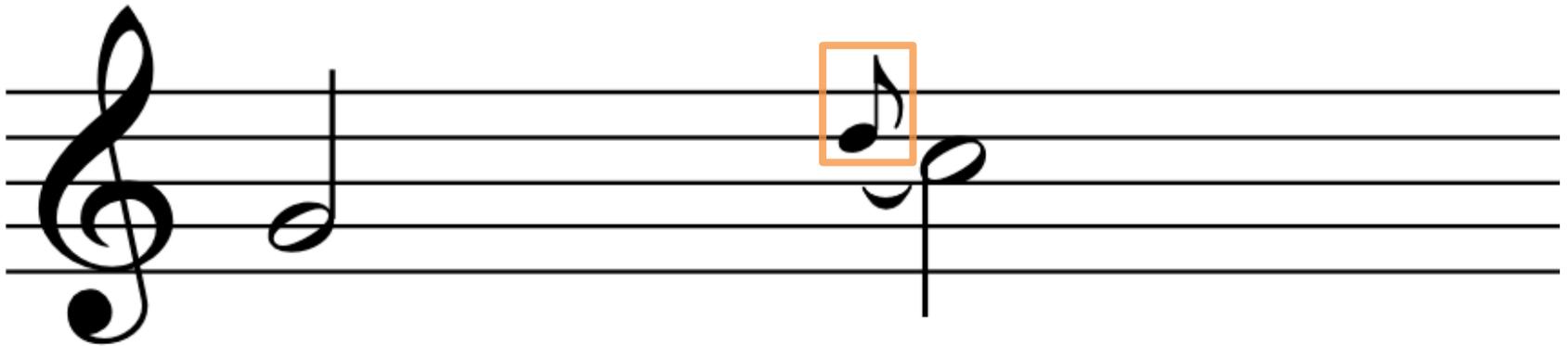
装飾音と親音符(親音)

装飾音は、五線の中に記される小さな音符のこと。
大きな音符のことを親音符(親音)と呼び
具体的な音高を指定して表記するため、そのまま読むことができます。



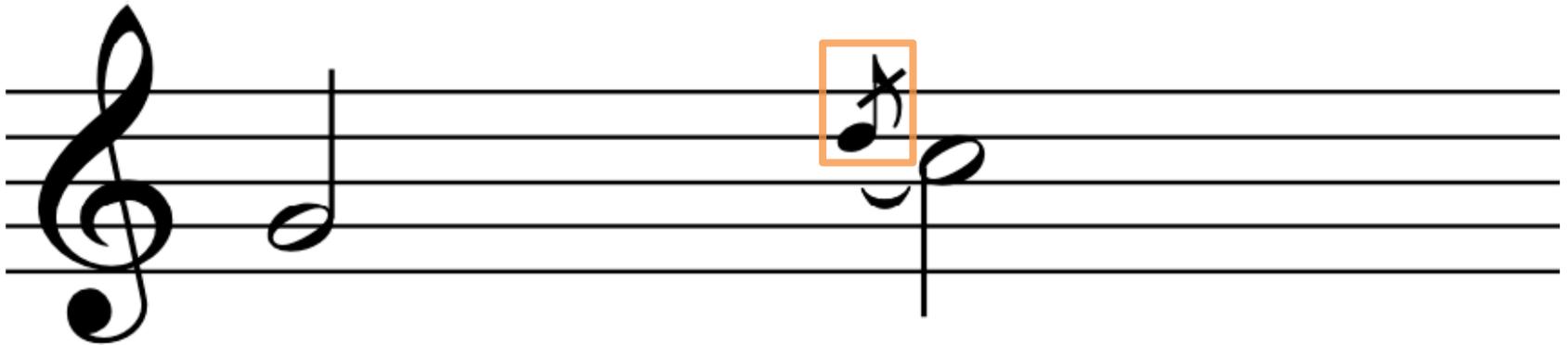
長前打音

親音を演奏する直前に、付加された音符の音高と音価の音を割り込ませて演奏する装飾音。そのため、その手前の音は必然的に記譜された音価より短く演奏することになる。



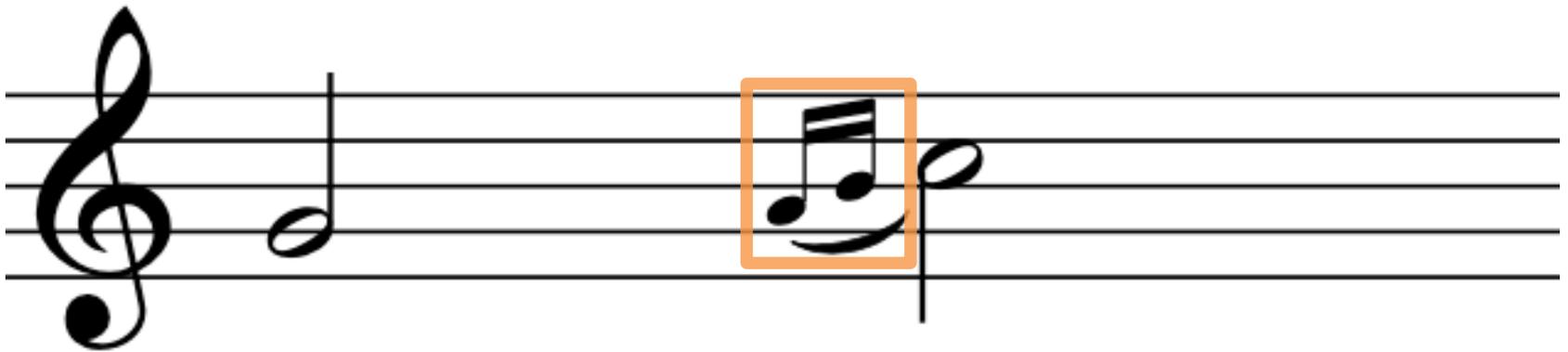
短前打音

音符に斜線が引かれている八分音符1つで記される装飾音。親音が演奏される直前に、付加された音符の音高をととても短い音価で割り込ませて演奏する。また、親音の発音タイミングを拍の頭に合わせて装飾音は拍頭前に演奏する場合もあれば、拍頭で短前打音から演奏する場合もある。



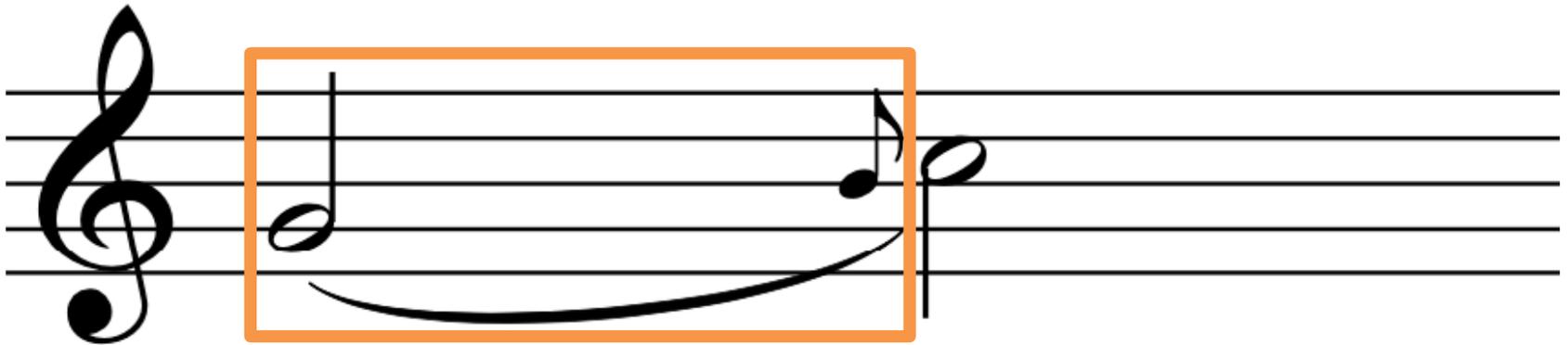
複前打音

複前打音は、複数の十六分音符で記される装飾音。演奏するタイミングとしては短前打音に近く、タイミングについても親音を拍頭に合わせる場合も、そうでない場合もある。



後打音

親音の後ろにスラーを伴って記される装飾音。親音を演奏した後に、付加された音符の音高を短く演奏する。1音の場合でも、複数音符がある場合でも呼び方は変わらない。



裝飾記号

トリル

トリル記号と波線がついている間、音符の全音上(または半音上)の音を交互に素早く演奏することを指示する記号。b や#を併せて記すことで、全音と半音のトリルを直接指定することもできる。

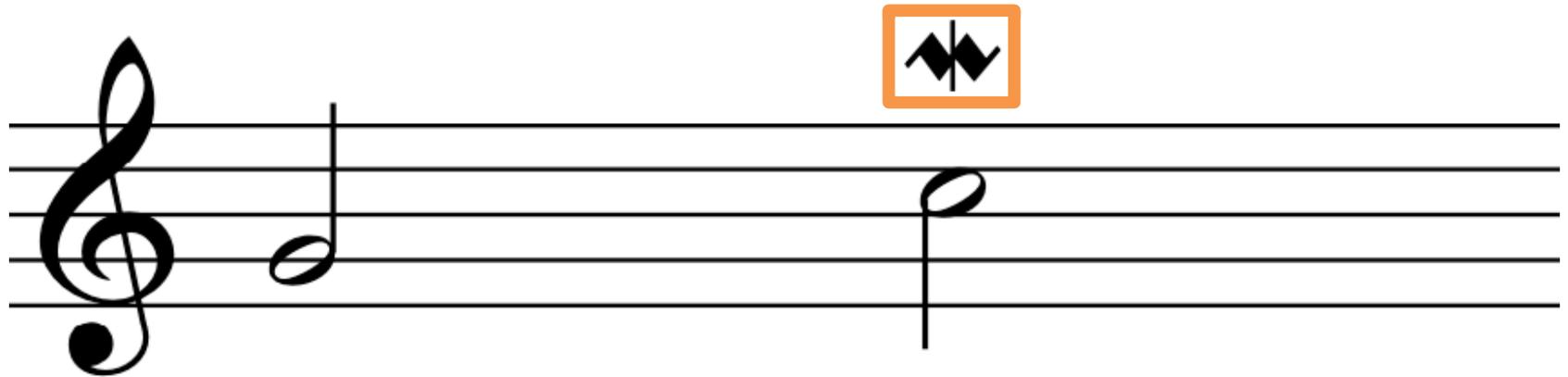
半音トリル

トリル

The image shows two musical staves. The left staff has a treble clef and a whole note on the second line, with a trill symbol 'tr' and a wavy line above it. The right staff has a whole note on the second line, with a flat symbol 'b' above the trill symbol 'tr' and a wavy line above it. Both trill symbols and wavy lines are enclosed in orange boxes.

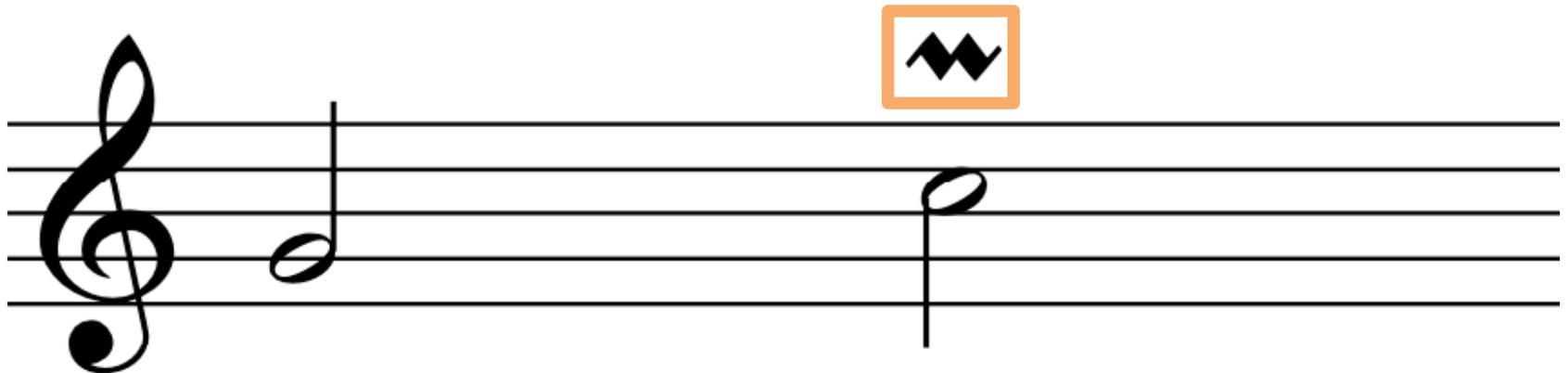
モルデント

音符の音を演奏した後、素早く二度下の音を鳴らしたら、すぐに元の音に戻って演奏することを指示する記号。トリル同様、bや#を合わせて記すこともできる。



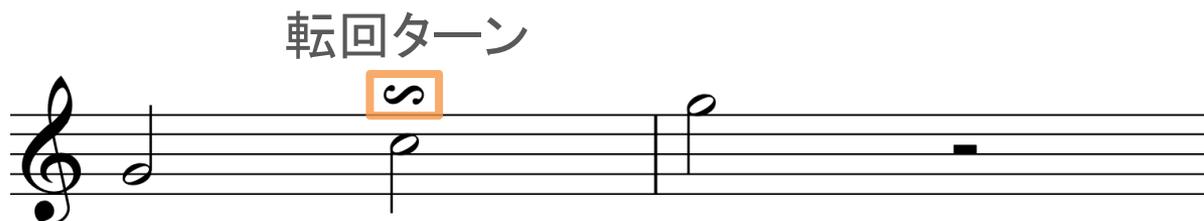
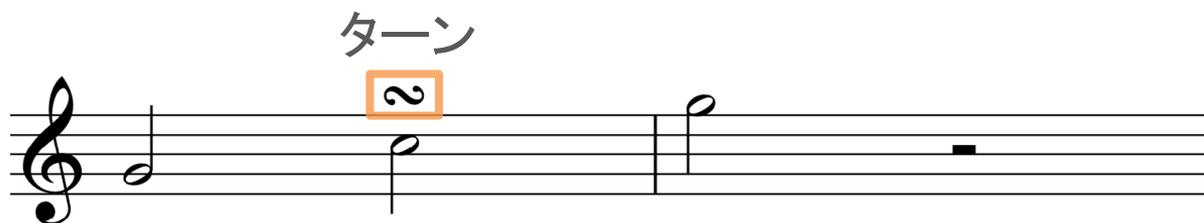
プラル・トリラー

音符の音を演奏して、素早く二度上の音を鳴らしたら、すぐ元の音に戻って演奏することを指示する記号。逆モルデントとも呼ばれる。トリル同様、bや#を合わせて記すことも可能。



ターン(転回ターン)

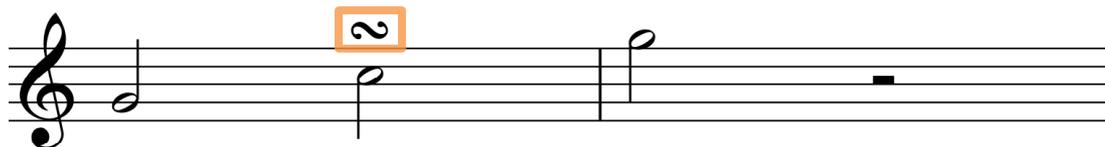
「2」や「S」の字を90度回転させたような記号で、記号がついた音符を起点に、二度上と二度下の音を経由して装飾しながら演奏する。向きによって意味合いが変わり、「2」を90度回転させた形は通常のターン、「S」を90度回転させた形は転回ターンと呼ぶ。



ターン記号の位置

ターン記号が音符の真上にあるか、音符と音符の間にあるかで演奏の仕方も変わってくる。真上にある場合は、ターンの音列をそのまま演奏、中間にある場合は、まず先に記譜された音符を演奏し、次の音符に移る前にターンの音列にしたがって演奏する。

■ 真上にターン記号



■ 中間にターン記号

